TOSHIBA 東芝蛍光灯ペンダント取扱説明書 保管用

お客様へ

- このたびは東芝蛍光灯ペンダントをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。器具を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとも必ず保管してください。
- 天井に角形引掛シーリングボディーがついていない場合は、電気工事店様に取り付けを依頼してください。※素人工事は法律で禁じられております。

工事店様へ ●●● 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■ 安全上のご注意

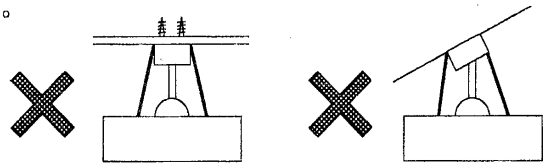
商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■ 工事店様・お客様へ 器具取り付けの際のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

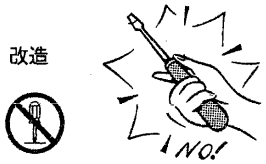
■ 取り付ける天井面を確認してください。

- この器具は天井吊り下げ専用器具です。必ず水平で平らな天井面に取り付けてください。また、天井の丈夫なところに取り付けてください。
- 下図のような天井に取り付けますと、火災、感電、落下の原因となります。

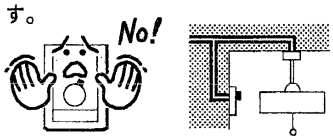


補強材のない場所　　傾斜した場所

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災の原因となります。

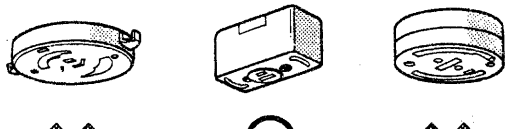


- 調光器（当社商品名コントルクスなど）による調光使用はしないでください。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと、器具やランプの短寿命、火災の原因となります。



■ 引掛シーリングを確認してください。

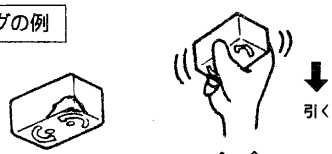
- この器具は、付属の吊り具セットによる吊り下げ方式となっておりますので、下図の角形引掛シーリング以外には取り付けできません。
- 角形引掛シーリング以外に取り付けた場合、落下してけがの原因となります。



埋込引掛シーリング　角形引掛シーリング　丸形引掛シーリング

取り付けできない引掛シーリングの例

※ 例にあるような引掛シーリングが取り付いていた場合は、引掛シーリングの取り付け交換を電気工事店様に依頼してください。



● 破損している引掛シーリング

● グラグラしたり、取り付けが不十分なもの

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

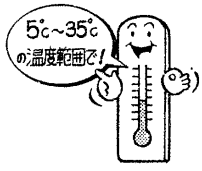
- この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電、火災の原因となります。

非防水

- 交流100V（±6V）以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、火災の原因となります。

電源電圧

- 暖房器具、ガス器具等の真上、付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災の原因となります。
（この器具は、5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。）

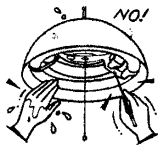


温度

■ お客様へ 使用上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具に濡れた手で触ったり、器具の隙間や放熱穴等に金属物等を差し込まないでください。感電、火災等の原因となります。



禁止

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

電源を切って

- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして使用しないでください。火災等の原因となります。

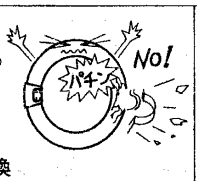
可燃物

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中および消灯直後は、ランプおよび器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

ランプ高温

- ランプホルダーを強くはじかないでください。ランプの破損、落下してけがの原因となります。



ランプ交換

- スイッチ引きひもを器具やランプにからませないでください。また、引きひもを強く引いたり、はじいたりしないでください。ランプ、器具の破損、落下してけがの原因となります。

スイッチ操作

＜生産完了 2004年01月01日＞
FVP86013（1／4）

■ 各部のなまえ

● この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

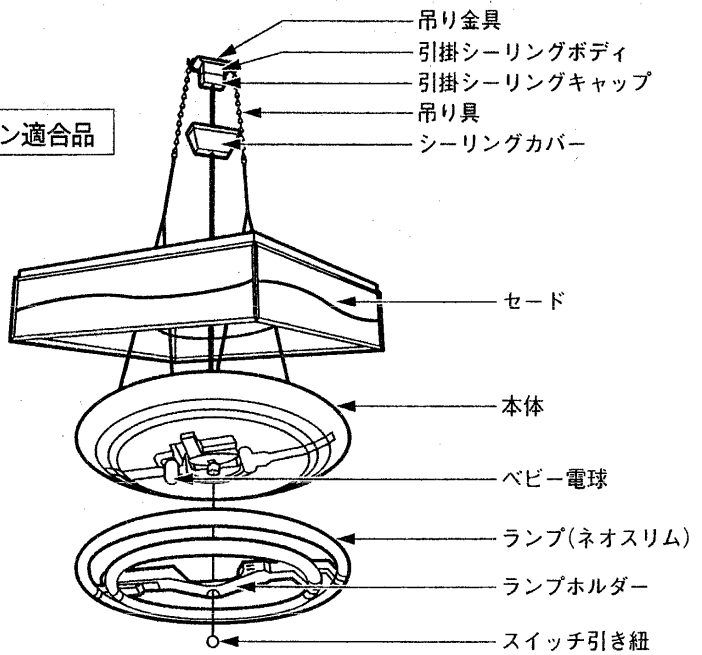
ネオスリムV

インバーター 高調波ガイドライン適合品

プルかべ 機能搭載

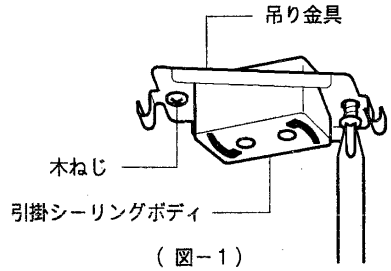
楽省資源

楽省メンテ



■ 器具の取り付けかた

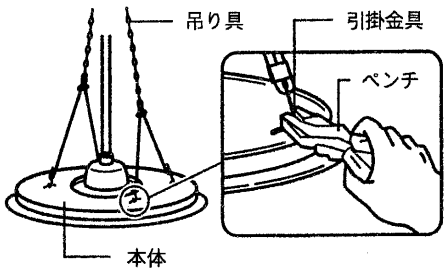
1．器具を取り付ける前に準備をしてください。



（図－1）

① 吊り金具を、天井面に取り付けられている引掛シーリングボディに合わせ、補強材のある位置に木ネジで固定してください。（図－1）

② 吊り具を本体に取り付けてください。この際、吊り具の引掛金具の先端をペンチなどで曲げ、本体からはずれないようにしてください。（図－2）

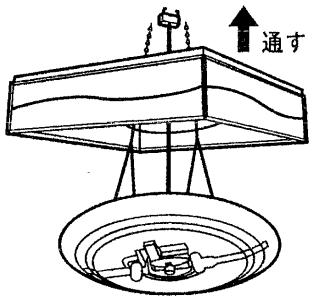


（図－2）

2．本体を天井に取り付けてください。

① セードを本体に取り付けてください。

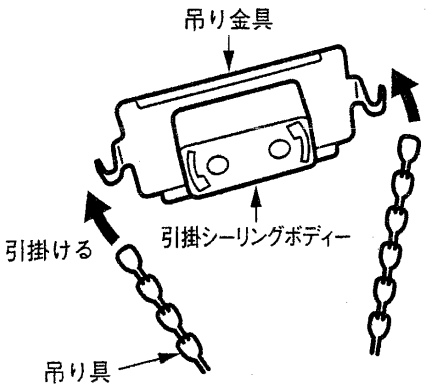
● 電源コードと吊り具をセード中央穴に通し、セードを本体の縁にのせてください。（図－3）



（図－3）

② 吊り具を天井面の吊り金具に取り付けてください。

● 吊り具を持って天井の吊り金具に引掛け、器具を吊り下げてください。（図－4）



（図－4）

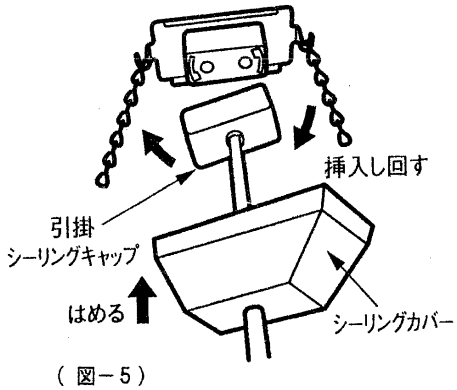
※ 器具の高さを調節するには、“器具の高さ、傾きを調節してください”の項目を参照してください。

③ 器具を天井面の引掛シーリングボディに取り付けてください。

● 引掛シーリングボディのかん合穴に引掛シーリングキャップの引掛刃を挿入し、止まるまで右方向に回してください。（図－5）

本体のはずしかた

引掛シーリングキャップのボタンを押しながら、そのまま左方向に回します。



（図－5）

④ シーリングカバーを吊り金具に取り付けてください。

● シーリングカバーを吊り金具のかん合穴にはめ込んで、天井面に密着させてください。（図－5）

⚠ 警告

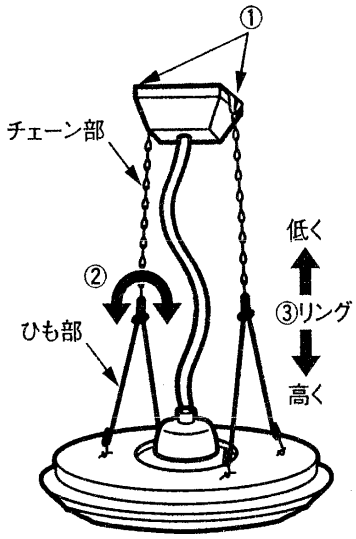
取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。

＜生産完了 2004年01月01日＞
FVP86013 (2／4)

3．器具の高さ、傾きを調節してください。

● 吊り具の調整のしかた

※ 器具の傾き調節のため、吊り具を必ずご使用ください。



（ 図－６）

① 器具の取り付け高さの調節は、吊り具のチェーンの引掛け位置で調節してください。

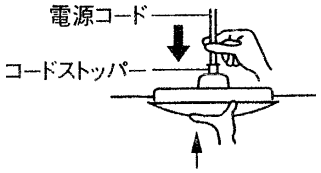
② 器具の傾きは、吊り具のひもの部分を持って左右に動かし、器具が水平になるように調節してください。

③ 吊り具の微調整は、吊り具のリングを上下させて調節してください。
高くする場合はリングを下に、低くする場合は上に移動させます。

● コードの長さの調節のしかた

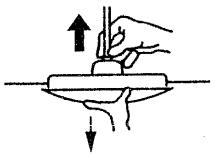
※ 器具を吊り下げたときに、電源コードが少したるむくらいに長さを調節してください。

短くする場合



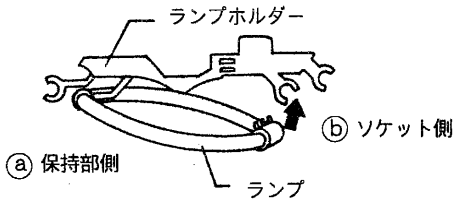
● 電源コードを本体内に押し込んで、所定の長さになったらコードストッパーを引き上げてください。

長くする場合



● コードストッパーを押し下げながら電源コードを引き出し、所定の長さになったらコードストッパーを引き上げてください。

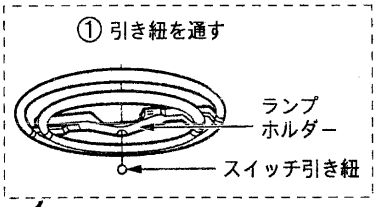
4．ランプホルダーを取り付けてください。



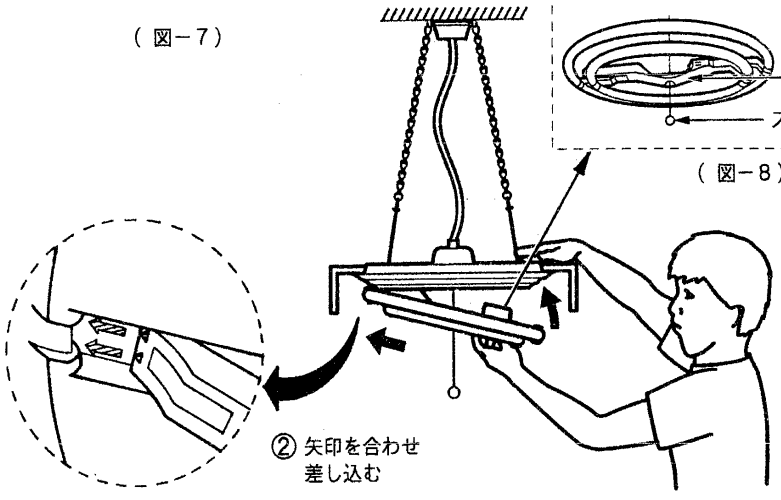
（ 図－７）

（１）ランプホルダーにランプを取り付けてください。

● ⓐ 保持部側、ⓑ ソケット側の順で取り付けます。（ 図－７）



（ 図－８）



（ 図－９）　（ 図－１０）

⚠ 注意

- ランプをソケットに確実に取り付けてください。取り付けが不完全ですと、点灯しなかったり、火災の原因となります。
- ランプは全数取り付けて使用してください。間引いて使用した場合、正常に機能しない場合があります。

（２）ランプホルダーを本体に取り付けてください。

① ランプホルダーの中央穴にスイッチ引き紐を通してください。（図－８）

② 本体天板面を手で押さえながら、ランプホルダーの矢印表示部分を本体の矢印部分に差し込み、（図－９）ランプホルダーを持ち上げて本体にはめ込んでください。（図－１０）

※ このとき、“カチッ”と音がしますので、確実に取り付いたことを確認してください。

ランプホルダーのはずしかた

本体をしっかり押さえながら、ランプホルダーの赤いボタンをつまんではずします。

■ 器具の使いかた

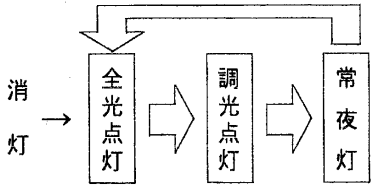
壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

プルかべ 機能 ●●● この機能は、壁スイッチの操作によって点灯状態を切り替えることができます。

<ご注意>

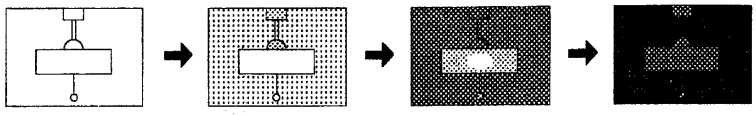
- １個の壁スイッチで２台以上の プルかべ 機能搭載器具を操作することはお避けください。
- プルスイッチで消灯状態にした場合、瞬時の停電が発生した際、プルかべ機能がはたらき全光点灯となることがあります。お出かけ等の際は、壁スイッチをお切りください。

- 壁スイッチをＯＦＦにして、約１秒以内 に壁スイイチをＯＮにすると、下図の順序で器具の点灯状態が切り替わります。
- 壁スイッチをＯＦＦにして、約１．５秒以上 過ぎてから再び壁スイッチをＯＮにすると、ＯＦＦにする前の状態で点灯します。



＜生産完了 2004年01月01日＞
FVP86013 (3／4)

スイッチ引きひも操作による点灯順序



● 全光点灯（明るさ100%）　● 調光点灯（節電調光）　● ベビー電球　● 消灯

■ スイッチ引きひもを引くと、左図の順序で器具の点灯状態が切り替わります

＜ご注意＞

この器具はマイコンを使用しているため、スイッチ引きひもで消灯した場合でもわずかな電流がながれ、約２Ｗの電力を消費します。器具を長時間お使いにならないときは、壁スイッチを切って節電に心がけてください。

■ お手入れのしかた　常に明るく使っていただくために、６ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

⚠ 警告

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- セードのお手入れは、取りはずしてからお手元で行ってください。落下してけがの原因となります。
- 器具、ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因となります。

＜ご注意＞

■ ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。ランプはていねいに扱ってください。

■ ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質、変色、故障の原因となります。

■ 器具の汚れは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。

■ 木や布セードのホコリは、ハケやブラシでとってください。

■ この器具の平均寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが、約１０年です。

＜ランプの交換＞

■ ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。

■ ランプの交換の際は、器具のワット数に応じた東芝蛍光ランプ「ネオスリム」とご指定ください。

■ 修理サービス

故障ではありません

- ランプの明るさや光色（色温度）が若干変化することがあります。
- 冬場など、周囲温度が低温のとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと、雑音が入る場合があります。
  雑音が入る場合は、照明器具とラジオやテレビとの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

■ ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店または東芝お客様ご相談センターにご相談ください。東芝電気製品の修理サービスは、お買い上げの販売店がいたします。
なお、ご相談されるときは、器具の形名およびお買い上げの時期をお忘れなくお知らせください。

● 東芝お客様ご相談センター（フリーダイヤル）　※ お客様の地域を担当するセンターにおつなぎします。

● ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理の相談ができない場合。

トーシバ　ヨイ
☎ ０１２０—１０４８—４１

（全国どこからでもおかけになれます。）

● お取扱い、お手入れ方法などのご質問。

トーシバ　イコー
☎ ０１２０—１０４８—１５

（全国どこからでもおかけになれます。）

■ 仕　様

８６Ｗ用	
定格電圧	ＡＣ100Ｖ 50/60Ｈｚ
消費電力	９１Ｗ
使用ランプ（ネオスリム）	ＦＨＣ２７，ＦＨＣ３４ ベビー電球　100Ｖ5Ｗ

お客様メモ

ご購入年月日：　　年　　月　　日

ご購入店名：

（ＴＥＬ：　　）

器具形名：

東芝ライテック株式会社　住宅機器事業部　〒140 東京都品川区南品川 2−2−13（南品川ＪＮビル）TEL(03)5463-8766

＜生産完了 2004年01月01日＞
FVP86013(4／4)
(003443)Ａ